

子宮頸ガン 予防ワクチンの公費助成は

課題解決していく



吉田 伸 議員

子宮頸ガン予防ワクチン公費助成についての考えは

吉田 子宮頸ガンの発生

が予防ワクチンの接種により少なくなる事が確認されている。

ガン予防のためにも今後の町の対応と対策を伺いたい。

町長 全国的に子宮頸ガンが微増傾向にあり、特に若い人たちがかかってしまいうことが問題になっています。

県内では大玉村と川俣町がワクチン費用の助成を予算化しており、約5万円で一部自己負担を加味しての計上であります。

本町のワクチン接種につきましては、国の動向及び県保健福祉部等の接種指標が示された後、指導をいただきながら効果や接種開始年齢、費用などの課題を解決してまいりたいと考えています。

川南町口蹄疫義援金支援について。町の口蹄疫対策の方針、対応は

吉田 九州宮崎県に発生

した口蹄疫による被害が川南町でも拡大している。

町の義援金、支援の方針を伺う。又町の口蹄疫対策の方針を伺う。

町長 日本三大開拓地としての交流を深めている川南町の支援は、町を挙げて支援を行います。交流事業を行っている十和田市と協議をし、100万円を送ります。

又各行政区単位、広く町民に呼びかけるため、広報やぶきに記事の掲載、チラシの折り込み、公共施設や金融機関、小売店などポスターと募金箱を設置して募金を呼びかけています。

矢吹町でも口蹄疫が発生しないように国県と、連絡を密にしながら防疫体制をしっかりとして。万全を期していきます。



矢吹町でも防疫体制は万全

ゆとり教育の見直しと言われているが矢吹町の対策は

吉田 子供達の学力低下が心配されている。我が矢吹町においての教育長の方針と対策はどの様に考えているのか伺う。

教育長 教育委員会でも、国県と見直しを図り23年度から実施となる学習指導要領の内容に基づき、21・22年度にはできるところから実施していくよう、小・中学校に指示している。



元気に遊ぶ子供達

私は教育長として、全体にゆとりを持たせることは極めて大事と考える。教師が子供達と向き合う時間を確保し、個別指導したり、話をじっくり聞いたり保護者と面談したりする時間が必要だからです。

ゆとりの中でこそ子供一人一人の学習をよく見、一人一人に応じた指導もでき、学力向上も図れるわけです。充実した教育の実践に力を注ぐ指導をしています。

町政を問う



大木 義正 議員

後期計画の取り組みと ビジョンを示せ!!

まちづくり総合計画が私のビジョンそのものです。

まちづくり総合計画について問う

大木 前期の主要事業の進捗状況と今後の見通し、さらに前期の検証と、それを後期計画にどう反映させていくのか。町民に対して明確なビジョンを示すべきと考えるがどうか。

町長 平成18年度から平成22年度までを前期基本計画と位置づけ、毎年度変更を加えながら現在まで148の主要事業と493の事務事業を実施しております。

現在、庁内に各課の係長相当職で策定会議を立ち上げ評価シートを用いた検証を進め、7月末を作業終了のめどにしている。主要事業に着手し、成果が上がっていると感じている。後期基本計画は、基本構想に掲げた「二つの支えあい」を引き続き、キーワードとし、協働のまちづくりの推進、産業の振興を重点と位置づけ、まちづくり活動の支援、地産地消、農商工連携の仕組を構築します。



前期計画で整備された田町大池線

学校給食費未納、滞納問題について問う

大木 町内各小中学校における給食費未納、滞納の実態はどうか。又、問題の解決、改善への取り組みはどのように行っているのか。

教育長 21年度末までの未納、滞納額の累積額は、小中学校全体で66件、約276万です。未納、滞納問題に対する取り組みは、PTA

総会時に実情の説明、新入学時に支払同意書徴収、口座振替依頼を行い、PTA役員にも協力いただき、督促等も行っている。一部支払いに応じる家庭もあるが、解消は厳しい状況にある。3ヶ月以上滞納した場合は、昼食持参等の同意書の提出を求めるなどの対策をとることにしている。又生活困窮家庭には扶助制度もあることを知らせ勧めている。一定の効果はあるが解決するには厳しい実情です。



笑顔で元気に登校

不登校生徒の実態と対策について問う

大木 町内各学校において不登校と思われる子供達の人数は何人なのか。又、解決への取り組みと防止する対策をどのように講じているのか。

教育長 21年度の不登校児童・生徒は、小学校2名、中学校9名です。家庭環境も申し分のない場合でも不登校は発生しており、どの子が不登校になっても、どの家庭に不登校の子が出て不思議でないと終わっておりません。解決法につきましては、定石のないのが定石と言われており、こうすればよくなるという方法がなく、ケースバイケースです。

登校が難しい場合は、学校と連携し教育委員会では大池教室での指導を行っています。専門家による相談が効果的であり中学校のスクールカウンセラーの活用、不登校の未然防止、早期発見、早期対応に努めます。